スイス１回目視察シリーズ　④

サルネンの聖マルチン教会

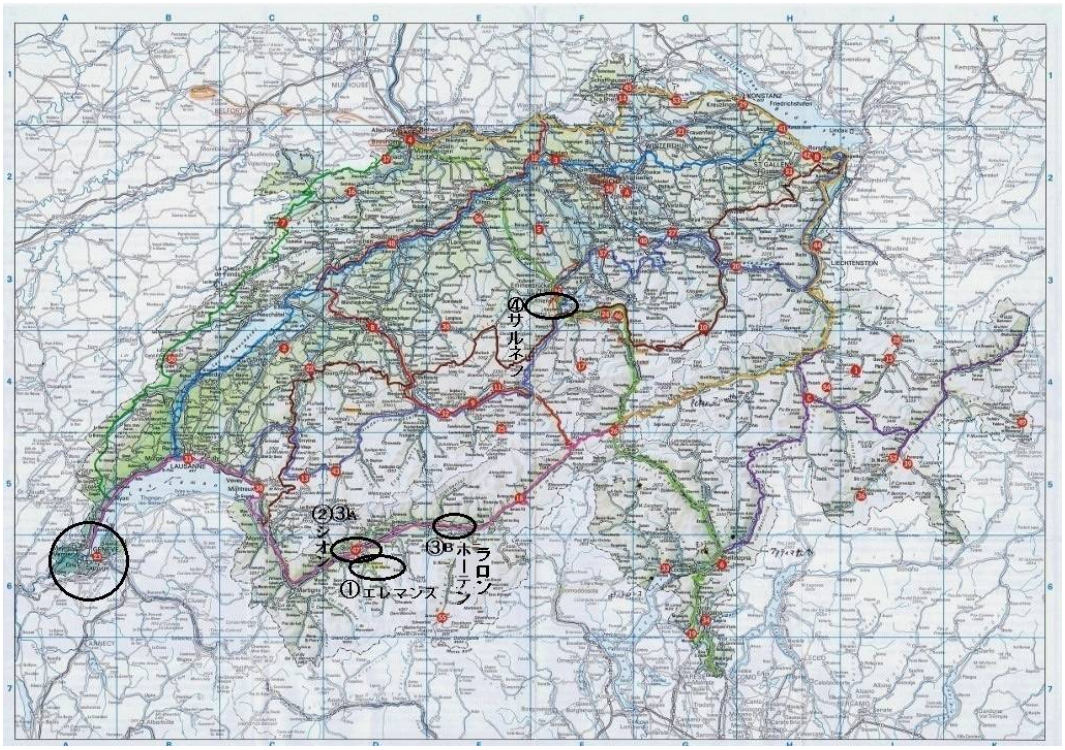
St. Martin Church in Sarnen (St.Martins-Kirche, Sarnen/OW)

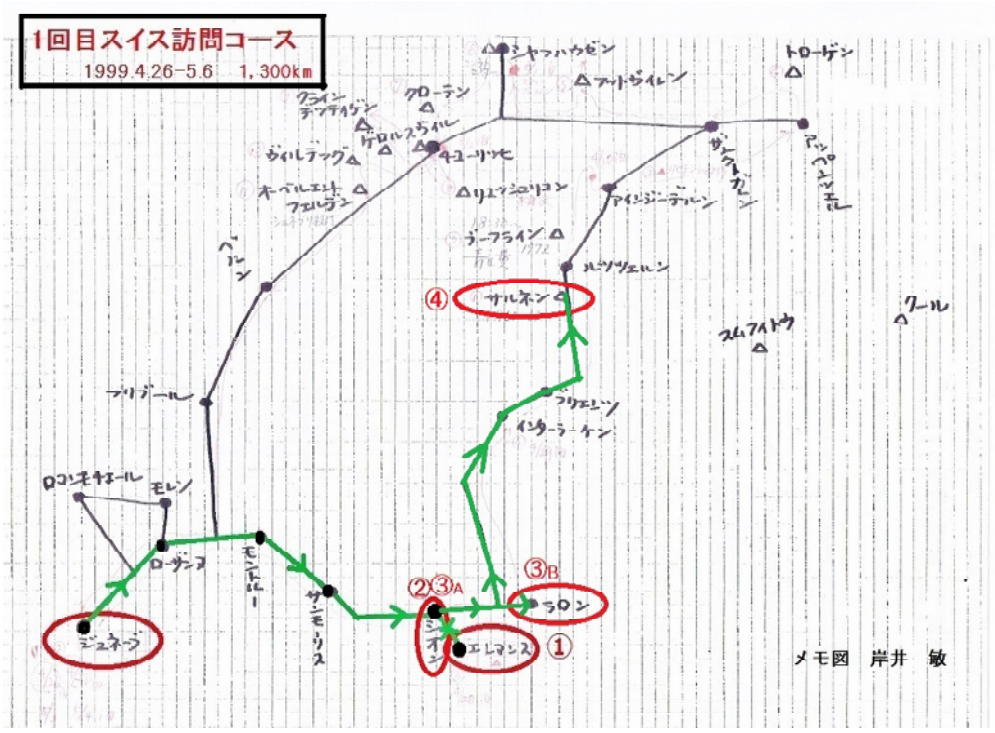
設計者　　エルンスト・シュトゥダー

　　ゴットリーブ・シュトゥダー

献堂聖別式　1966 年 10 月 22 日

訪問日　1999 年 4 月 30 日



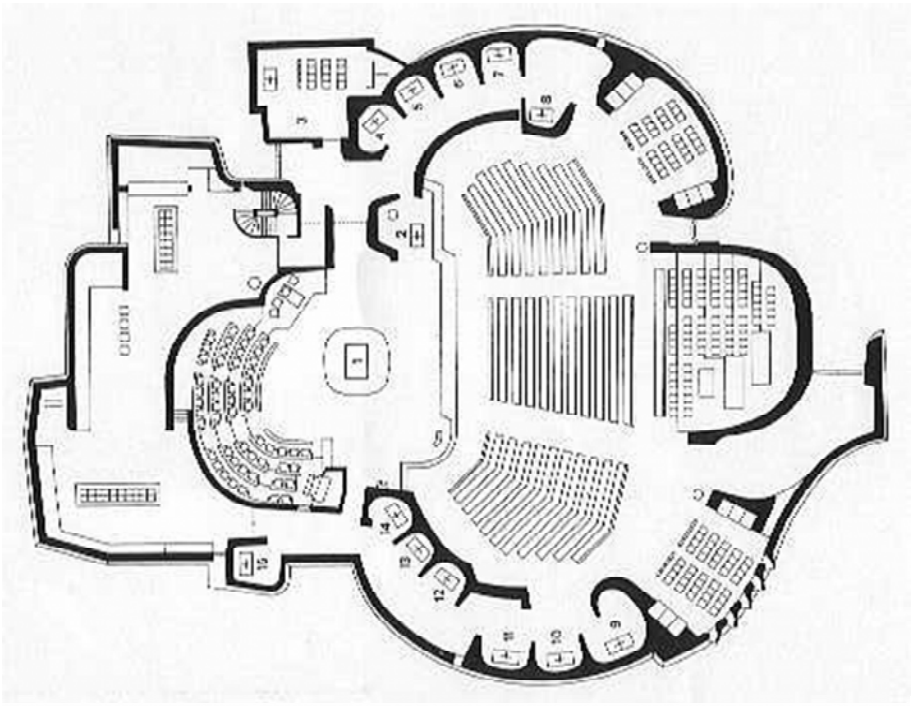


前日２９日午後４時３０分に車ごと列車に乗り山越え。

インターラーケンのホテル宿泊、近くのすがすがしい朝の川辺散歩。

インターラーケンからサルネンへ

サルネンの聖マルチン教会　St. Martin Church in Sarnen



平 面 図

Designed by Ernst and Gottlieb Studers according to their plan which won the contest in 1962. The church was built as a connected part of a school and Benedictin monastery. The history began in the 11th century when monks came from Muri/AG and built chapels as the center of their educational service in the neighboring society. They came to Sarnen as well and started their educational work. The chapel was first built in 1868 and the gymnasium was built in 1891. As their work progressed, the present church building was built and was dedicated in October 1966.

The current church building, connecting several round buildings (55 clergy seats, 610 normal seats) are so designed that they can be used not only for the church meetings but also for the programs of the schools and villagers. They use indirect lighting system and no microphones nor loud speakers are used. The consecration service was held on Oct. 22, 1966.

1962 年のコンテストで選ばれたエルンスト・シュトゥダー、ゴットリーブ・シュトゥダー兄弟の設計。学校とベネディクト派修道院の付属教会として建てられた。

歴史としては、11 世紀からアールガウ州ムリにいたベネディクト派の修道僧たちが近隣の町村に宣教活動を開始したことにはじまる。この修道士たちがサルネンの教育事業も手掛け、1868 年には学院のチャペルが、1891 年には学生の体育館が建設され、事業の発展とともに、現礼拝堂ができあがり、1966 年 10 月にその献堂聖別式が行われた。

現建築は斬新な丸いデザイン（聖職者席 55、信徒席 610）であるが、教会のプログラムだけでなく、学生や村人のプログラムにも使用できるように配慮されている。間接照明を用い、マイクロフォンやスピーカーは使用していない。

正 面

側 面

裏 側

正面玄関

礼拝案内板

礼拝堂内部

正 面

聖 壇

キャンドル・聖卓

キャンドル・洗礼盤

側　面

説教台と会衆席

背面・パイプオルガン

背面入口

会衆席